

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (甲信越)		遊園地（職員）	来客数の動き	・料金の変更や、タイアップ企画、コンサートイベント等の集客施策実施により、3か月前と比べて来客数が増加している。
		観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・天候にも恵まれ、宿泊はおおむね好調に推移している。売店での土産物の売行きも好調である。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・地震のあった北海道や台風21号のあった関西に申し訳ないが、そちら方面の旅行客が、信州へ流れてきているのかもしれない。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・繁忙期とはいえ、宿泊客が順調に推移している。また、リネンや食材等の取引業者との立ち話から、地域の同業他社も良さそうである。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・団塊世代の余暇消費に頼っているのが現状である。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・季節の変わり目で、葬儀の依頼が増えている。また、法事の依頼も増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・当店は学校関係が主力で、商店街の中心であるが、店頭販売は皆大型店に流れたりしている。学校で要る物だけは子供に関係なく親が買ってくれるので大変有り難い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑の8月とは真逆に大荒れの9月で、台風の影響が大きく、客の動きが鈍い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑の夏が過ぎエアコン騒ぎも落ち着き、商品の動きも今までどおり静かになっている。必要でない物や事への出費をしない消費者に打つ施策が、見当たらない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・猛暑、水害、北海道胆振東部地震の影響もあるが、相場高が景気をけん引している。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・天候不順、台風などの影響もあり、改善とは言えない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・何か特別良くなるような要因はない。ただ、最近道路の拡幅、古いアパートの解体、分譲住宅の新築工事など、消費税が10%に上がる前の駆け込み需要の住宅着工があるようである。100メートル以内で新築工事が9件ほど施工されている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暑くてスーツを脱ぎ捨てたくなるような夏も終わり、まだ動きはないものの、これから秋冬物の準備で動き始めるとみている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・上半期の来客数、売上数量を確認したところ、減少傾向にある。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車販売は、先進技術搭載車を中心に堅調である。ここ数か月で、大きな変化は見られない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車、中古車共に販売量が減少している。車検整備も消耗品等の交換を説明しても、ただ車検に通ればよいという客もいる。景気は良くない。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・来年の消費税増税の話題が増えており、冬物の準備が予約価格の安い9月から動き始めている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数や客の動きを気にはしているが、単価は現状維持である。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・停滞感が継続中である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・少し上向いてきたので期待したが、思ったほどではない。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前月から回復傾向にあったものの、今月に入りフリー客の動きが鈍いまま終了している。悪天候が長く続いたことの影響が大きい。	
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・天候不順や台風による被害が大きく、変更等もできないため、売上が伸びていない。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・夜の動きがない。長距離客は夜しかないのに、単価が下がっている。	
	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・営業関係で使用するガソリン代の値下がりがないために、非常に経費が問題になってきている。また、自然災害である台風、長雨等で非常に厳しい。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・秋に向かって流行に敏感な若い客にヘアスタイルを提案し、受け入れられている。その一方で、今月も残暑のため、高齢者の来店は少ない。	
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・依頼物件数は多少あるものの、計画、実施設計が少ない。	

	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順も1つの要因かもしれないが、街への人出がだんだん少なくなって、通りはいつもがらんとしている。固定客はあっても先細りになっていく。	
	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・8月の猛暑が一転し、天候不順が続いたため、客の動きが減少している。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月は、たばこ価格改定に伴う駆け込み購買需要によって一時的な売上増だが、来月はその反動による売上減となる。たばこ購入者の来店率が高いため、たばこ購入時のついて購入商材であるパン、飲料も同時に下がる。利益自体にも大きな影響が出る。客の買い控えムードを解消するには、年末需要まで時間を要する。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・3か月前は割と暑かったので、それに助けられたところがあった。今月前半は若干良かったものの、後半は気候が戻って、落ち着いてきたので、3か月前に比べれば若干だが、前年と比べれば大きく下回っている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・従来から農繁期になる9～10月は、余り業績は良くないが、今年は特にひどい。雨天も影響しているが、それだけでない不景気感が漂っている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・9月の一般宴会件数は、前年同時期と比べてマイナス20件であった。市内のホテルに聞くと、やはり同じような状況で、9月は非常に悪い。	
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・多チャンネル放送、インターネットも、若者はスマートフォンなどに関心が行っており、反応が薄い。	
	×	スナック（経営者）	競争相手の様子 ・競争相手の様子と回答したが、来客数の動きや客の様子からみても悪くなっている。飲食店だが、周りの空き店舗は埋まれば飲食店で、競争相手が一番気になる。	
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-	-	
	*	*	*	
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・台風21号や秋の長雨の影響で、来場者数の減少が響き、売上が落ち込んでいる。また、風雨の影響で、原料が大きなダメージを受け、品質への影響が心配される。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・酷暑が終わり、やっと涼しくなってきたものの、売上未達が続いている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・セールPRなどを展開するものの反応は鈍く、相変わらずの低迷路線である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製造業全体に、安定した状況が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・猛暑やお盆休み以降、営業日数が少なく売上也若干落ち込んでいる。また、受注も横ばい状態である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・企業の景況感は低下傾向にあるが、高い水準を維持している。米中の貿易摩擦が足元でどのように県内企業に及ぶのか、不透明感が高まっている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・豪雨による関西国際空港の閉鎖や北海道胆振東部地震による影響など、一部の観光都市では一時的に減少となっている。富士山や富士五湖周辺では、依然として観光客は増加傾向にある。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月は降雨が続き、晴れ間は土日のわずかな時間である。そのわずかな晴れ間を出掛けたり農作業に充てるため、紳士服店では来客数がかなり落ちたと話している。今月のチラシ出稿量は前年比83.9%と大きく減少している。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・関東、東海、関西の3か所でユーザー展を行った。通常なら秋のファッションシーズンを前に盛り上げるはずだが、いずれの会場でも、来場者、売上共に前年と比べて減少している。高額品が売れなかったことが原因である。海外で行われた展示会では、従来中国人バイヤーがSNSで販売するために、100～300ドルの低価格帯の商材を多く買っていたが、価格や品質だけではなく、新しいデザインの物を探すようになったことで、更に商品作りが難しくなっている。	
	×	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子 ・取引先の閉店などが相次いでいる。	
雇用 関連	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向にあり、有効求人倍率も上昇している。依然として、半導体関連及び自動車関連の製造業は好調との声が聞かれる。	

(甲信越)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・引き続き有効求人倍率が上昇している。	
	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・職業安定所も含めて採用条件は変わっていないが、合否の結論を先延ばしにする傾向は変わらない。そのため次の動きができず困っている方が多い。また、入社時の紙面での契約条件等が採用時と異なるケースが多く、退職してしまうことも多い。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・地元で多店舗を運営する飲食店が、今までは不定休で営業を続けてきたが、最近正社員の退職が続き、全店で月曜日を定休日にしなければならなくなっている。それに伴い正社員急募の求人広告を出したが、問合せは少ない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は、建設業、製造業、医療福祉業などで増加し、全体では前年比6.1%増加である。未充足による更新求人増加傾向がみられる。新規求職は、前年比5.2%減少で、在職者、定年到達者で増加がみられたものの、離職者は、会社都合、自己都合共に減少している。	
		-	-	-
	x	-	-	-